

令和4年度世田谷区提案型協働事業 成果報告会

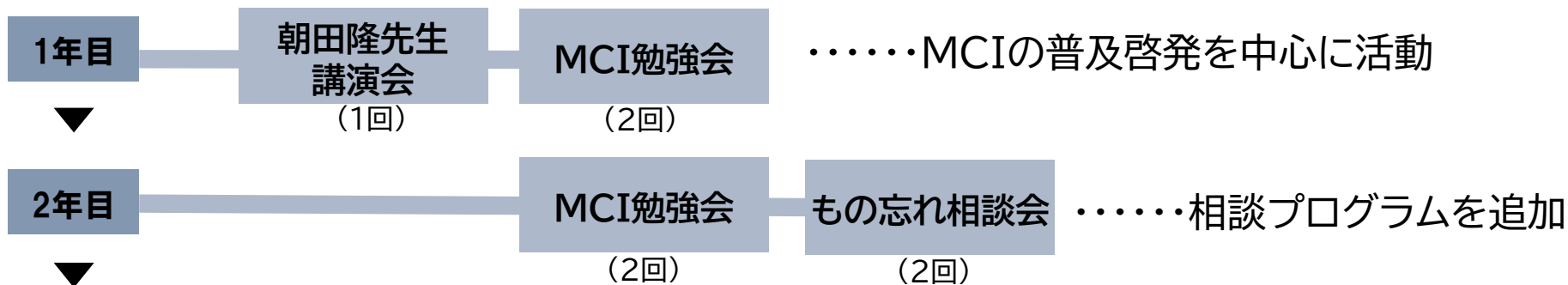
軽度認知障害(MCI)および認知症予防を 正しく知るための啓発活動 III

2023年3月24日

特定非営利活動法人 語らいの家

【担当課】高齢福祉部 介護予防・地域支援課

事業名称：軽度認知障害(MCI)および認知症予防を正しく知るための啓発事業



今年度の活動ポイント

1. 普及啓発の充実

2. 「もの忘れに不安を持つ本人」への支援の充実



朝田隆先生講演会

講演タイトル: コロナ時代 認知症になっても、ならなくても **人生をカッコよく**

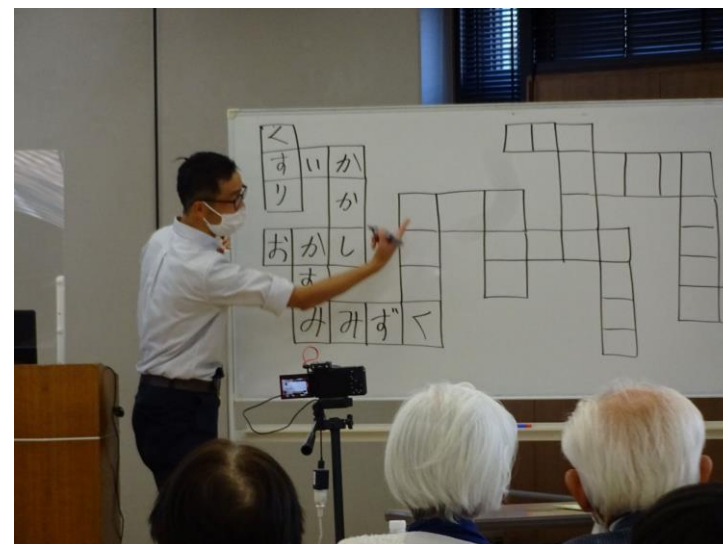
場所: 成城ホール



講話



脳トレ

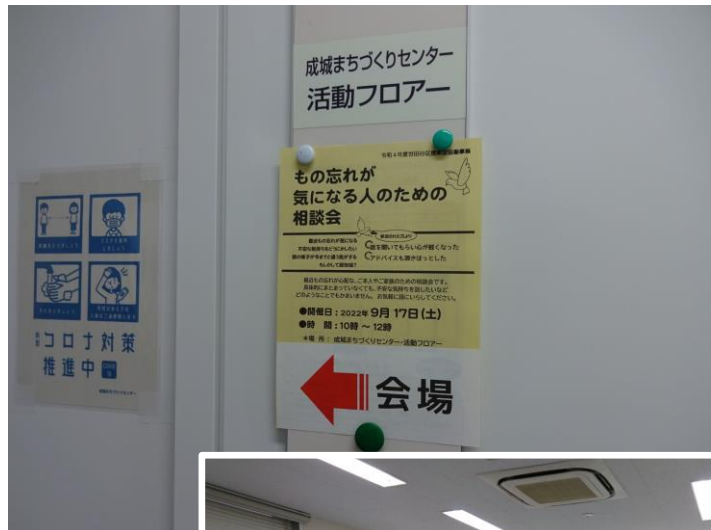


運動



●相談会

会場：成城まちづくりセンター



●事業者研修(zoom開催)

対象：介護予防・筋力アップ教室事業者



講師

普及啓発について

- ①「朝田隆先生講演会」・・・今年度、再度開催出来た
- ②朝田先生講演会・MCI勉強会の動画配信をおこなった
(YouTube区公式チャンネルで配信中)
- ③普及啓発の担い手となりうる“事業者”に対しても
知識を伝えることが出来た



今まで以上に多くの方に
MCIと、もの忘れの予防知識を伝えることが出来た

相談について

①もの忘れに不安を持つ人のための相談会を、今年度は3回継続開催出来た



相談会によって
不安を和らげ安心につながるきっかけが生まれた

支援について

①相談会参加者の中で、必要に応じて支援につなげた

*認知症カフェ、筋力アップ・はつらつ等の運動教室につなげた

②MCI勉強会で、自宅でも出来る、脳トレや運動をおこなった



”参加して終わり“にならないよう、
これからの生活に活かせる情報や場の提供をおこなうことが出来た

協働事業としての成果

- ・担当課との明確な役割分担と、プログラム開催当日の共同作業
- ・区の持つ豊富な資源を効果的に活用
(SNSなど発信形態を広げた広報活動)
(動画配信)
(区が持っている質の高い情報や支援先を、区民に提供した)



今まで以上の普及啓発と、支援につなげることが出来た

人口約92万人、うち高齢者人口約19万人の世田谷区

①

より多くの区民に知識を持ってもらうためには、
今後も長期的に普及啓発の機会をつくる必要あり



MCI勉強会など、普及啓発は今後も継続する

MCIの人やもの忘れに不安を持つ人が
これからも安心して暮らすための働きかけは、今後も必要

②

「不安な思いを聞いて欲しい時に行ける場」
「不安な思いを受けとめてくれる場」の存在は大切である



相談会についても定期的な開催の必要あり

③

同じような思いを持つ“仲間”同士の「横のつながり」は
安心と楽しさのある暮らしに繋がるきっかけになると
考える



“支援”の新たなカタチをつくる必要あり